

# アフリカの土地と国家に関する中間成果報告

武内 進一編

2014年3月

独立行政法人日本貿易振興機構  
アジア経済研究所

調査研究報告書  
地域研究センター 2013-B-I-3  
「アフリカにおける土地と国家」研究会

調査研究報告書  
[地域研究センター]2013-B-I-3  
アフリカの土地と国家に関する中間成果報告

---

---

2014年3月29日発行

発行所 独立行政法人日本貿易振興機構

アジア経済研究所

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2

電話 043-299-9500

無断複写・複製・転載などを禁じます。

---

---



はじめに

本報告書は、2013年度にアジア経済研究所で実施された「アフリカにおける土地と国家」研究会の成果である。本研究会は2年の予定で実施され、この報告書は中間成果物にあたる。近年、様々な形でアフリカの土地に関する関心が高まっているが、本研究会ではそうした今日的諸問題を理解するための基礎的な作業として、土地政策の長期的な変遷に着目した。それによって、国家社会関係の変化が浮き彫りになると考えている。

土地に関する問題は、アフリカ研究において最も蓄積がなされてきたテーマの一つである。それはアフリカ人の生業や生活に深く関わり、国家から見た統治の意図を反映する。経済、社会、政治など、いかなる分野でも土地を無視した議論はできない。本中間報告は、巨大なテーマに一步でも近づくためのささやかな試みである。

研究会の実施にあたって、多くの方にご協力をいただいた。とりわけ有り難かったのは、アジア経済研究所の大先輩であり、日本におけるアフリカ土地研究の開拓者でもある吉田昌夫さんが講師としてご報告くださり、さらに毎回の研究会に手弁当で参加してくださったことである。旧英領東アフリカに深い造詣をお持ちの吉田さんの参加を得て、各国比較の観点からいくつも興味深い発見があった。これらは是非とも最終報告に活かしていきたいと思っている。同じく手弁当で研究会に参加してくれた阪本拓人さん（東京大学）、オブザーバーとして議論に加わってくださった福西隆弘さん、牧野久美子さん（アジア経済研究所地域研究センター）、工藤友哉さん（同開発研究センター）にも厚く御礼を申し上げたい。

2014年3月

武内進一

## 目次

序章 「アフリカにおける土地と国家」研究会の構想.....	武内進一.....1
第1章 タンザニアの土地政策史	
－植民地期から現在までの土地法制に関する予備的考察－.....	池野 旬.....6
第2章 植民地化初期のケニアにおける土地制度とその変遷.....	津田みわ...42
第3章 北ローデシアにおけるイギリス南アフリカ会社の	
領土獲得と土地制度の確立.....	大山修一....66
第4章 シエラレオネにおける土地関連法.....	落合雄彦...98
第5章 ソマリアにおける土地政策の形成の概要.....	遠藤 貢...130
第6章 コートジボワールにおける土地政策の変遷.....	佐藤 章...159
第7章 コンゴ民主共和国の土地関連法制.....	武内進一..177
第8章 独立後ブルンジ、ルワンダの土地法制.....	武内進一..218
第9章 第二次世界大戦後のエチオピアの土地制度の変遷	
－土地法の検討を中心に－ .....	児玉由佳..275

## 執筆者一覧

(執筆順。所属は2014年3月現在)

武内進一	アジア経済研究所 地域研究センター アフリカ研究グループ長
池野 旬	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授
津田みわ	アジア経済研究所 地域研究センター 主任研究員
大山修一	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授
落合雄彦	龍谷大学法学部 教授
遠藤 貢	東京大学大学院総合文化研究科 教授
佐藤 章	アジア経済研究所 地域研究センター 主任研究員
児玉由佳	アジア経済研究所 地域研究センター 主任研究員